

信愛地域フィールドゼミナール



「地域連携フィールドゼミナール」とは、和歌山信愛大学 教育学部 2年生の授業のひとつで、地域に入って地域を学ぶ取り組みを行っています。湯浅を選択した学生たちは、伝建地区を中心に学びを深めています。

10月24日(日)、27日(水)には、伝建地区内の空き家で、土間を作る作業を行い、伝建制度を活用した建物の改修の現場を体験しました。



報告

保存協議会 役員会を開催しました

日時：令和3年10月11日(月) 午後5時より

場所：甚風呂別館

出席者：会長、副会長3名、事務局3名

協議内容：第44回全国町並みゼミ奈良大会の参加について

全国町並み保存連盟とは、地域の文化と歴史的町並みの保存・再生運動を通じて、地域の活性化に寄与することを目的に活動を行っており、保存協議会は令和元年度に加入しました。

全国の加盟団体が一堂に会し、町並みの保存について議論する「全国町並みゼミ」は、昨年度はオンライン開催でしたが、今年度は、11月12日(金)～13日(土)に奈良県で開催されるということで、保存協議会を代表して木下会長が初参加することが承認されました。

今後、新型コロナウイルス感染の状況が収まれば、皆さんにも参加の呼びかけを行う予定です。

次号でゼミの内容を
報告する予定です！



湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、右記のまちなみ瓦版編集委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

半邊 宗五
妻木 良三
楠山 吉雄
油谷 太一
竹田 滋子



まちなみ瓦版

■令和 3年 12月 1日
■第 59 号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：木下 智之



湯浅を楽しむイベント 開催中

前号でお知らせしました、JRの特急を利用し、日本遺産の認定を受けている湯浅町・広川町を巡るイベントが、11月1日(月)～12月26日(日)まで、昭和レトロな雰囲気「エモい町」をテーマに撮影された写真を、Instagramへ投稿するコンテストが開催されています。

このイベントに協力している、吊るし飾りの展示は、素敵な写真スポットになっていました。(吊るし飾りは、11月28日(日)で終了しました。)

また、11月20日(土)、21日(日)の2日間、和装の着付け体験を行い、参加者は着物で伝建の町並みを散策し、各スポットで写真撮影をしていました。着物姿は、新鮮で見入ってしまうほどで、通りがとても華やかな様子でした。



社会見学 子どもたちの声 賑やかに



伝建地区内が、子どもたちの元気な姿でいっぱいです。主に県内の学校が、社会見学として湯浅に多く訪れています。新型コロナウイルスの影響もあり、近隣の訪問地として湯浅が選ばれることが増えているようです。

散策中、「醤油のいい香りがする！」「古い建物がいっぱい！」など、久しぶりに子どもたちの元気な声がしていました。

大仙堀の清掃活動を行いました

10月4日（月）午前、役場職員や町議会議員らによって、大仙堀の清掃活動を実施しました。今回の清掃活動では、大仙堀の中に生えてきている木の枝を切り、大きくて目立つゴミを回収しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、役場関係者のみによる作業としましたが、引き続き大仙堀の環境を向上させる取組みを進めていく中で、地域住民の皆さまと一緒に、清掃活動等を行えたらと考えています。



外観を変更する工事をする前に ～現状変更行為許可申請届提出のお願い～

伝建地区内では、伝統的な町並み景観を損なわないよう、外観が変更するようなすべての行為（※）について、届出と許可が必要となっています。家や蔵の工事を予定している場合は、教育委員会 歴史文化財係までご連絡ください。

外観が変更するような行為とは??
～現状変更行為許可申請届が必要な場合～

- 例）
- ・建物の新築、増築など
 - ・扉や窓の変更
 - ・外壁の張り替え、塗り直し
 - ・塀や看板など工作物の新設、修繕、除却
 - ・屋根の工事
- など、見た目の色や形などが変わる行為

教育委員会 歴史文化財係までご相談ください
0737-64-1128
※補助金が出る場合があります。



※傷んだ箇所を同種の材料で補修する場合や、道路から見えない部分、屋内など、届出が不要な場合もありますが、判断に迷うときは必ず役場に相談してください。

湯浅の伝建事業をチェック

文化庁の伝建担当官による現地指導が、10月21日（木）～22日（金）に行われました。現地指導は、これまでに修理・修景した物件や今年度の事業物件、来年度以降の要望物件の確認を受けるものです。担当官は、重伝建選定後は初めての湯浅訪問ということで、保存修理事業が進んでいることを評価したうえで、修理の技法や考え方などについて様々な指導・意見交換が行われました。



まちの話題

町並みを火災から守る



火災報知器設置の様子

前号のまちの話題でお知らせしました、伝建地区四地区自主防災連絡協議会が一般社団法人全国消防機器協会から寄贈を受けた、防災品（防災エプロン・防災アームカバー）は各四地区均等に配り、住宅用消火器は、通りに設置している消火器の期限が全て切れているため、北町地区に配りました。

また、住宅用火災報知器は、各四地区の一人暮らしの高齢者宅を優先に、各地区の役員の方に設置してもらいました。この火災報知器の効果は10年間ありますが、期限が切れていないか、ご家庭の火災報知器を確認してください。

湯浅の魅力発信 情報誌の撮影

大人の女性の癒し旅を紹介する情報誌「月刊旅色」の撮影が10月11日～12日の2日間、湯浅町で行われました。

今回は、女優の中村ゆりさんがナビゲータを務め、町内各所を訪れました。伝建地区内では、甚風呂・角長醤油資料館・北町通りで散策する様子などの撮影が行われました。

旅色12月号は、月刊旅色・役場ホームページで公開されています。

